

# 森づくり活動団体紹介コーナー

## 陣ヶ下自然愛好会

会の紹介	<p>陣ヶ下渓谷公園を含め周辺は15haの森です。貴重な緑地ですが、里山として利用されなくなり、姿を変えつつあります。森の変化を知り、保全の判断をする資料になればと、公園内の植生調査を行っています。現状での「緑の台帳」を作成するためです。調査の対象は公園全域で、平成21年から続けていて、計画の60%を終了しました。調査で、可憐な山野草に出会うのも、喜びの一つです。一部ですがコナラ林を再現し、山野草の芽生えを期待しながら、林床のササ刈で汗を流しています。</p>	
	<p>活動日・活動場所 活動日:原則毎月第2、第4土曜日午前中 場所:陣ヶ下渓谷公園とその周辺</p>	
	<p>PR 会の活動の目的は「陣ヶ下の自然に親しみ、保全に寄与する活動を行う」です。会員資格は活動目的に賛同する、高校生以上の男女です。予備知識はいりません。森を知り、森に親しもうという方を歓迎します。</p>	

## 里山夢楽 LOVE

会の紹介	<p>環境活動支援センター内で発生した間伐材等を活用し、みどりの重要性について普及啓発に取り組むことを目的に、小学生向けの竹細工や一般市民向けにひょうたんを利用した人形やランプシェードづくりなど様々なクラフトの作成活動を行っています。</p>	
	<p>活動日・活動場所 活動日:毎週火曜日、金曜日の午前中 場所:環境活動支援センター</p>	
	<p>PR 地域の子供や市民を対象にした間伐材のクラフト作りに興味のある方を募集しています。間伐材を通してみどりの重要性をみんなに楽しく伝えていきましょう。</p>	

## わかぎの会

会の紹介	<p>平成16年、「豊かな自然を守り、矢部の子どもたちの安全な遊びの場、貴重な学びの場としてもっと公園を活かしたい」との思いから、谷矢部池公園の環境を整備する活動を始めました。年1回『竹灯籠の夕べ』というイベントを関係諸団体と協力しておこなっています。他にも、竹の切り出しや飾り竹灯籠作り、竹細工教室などを開催して、公園の自然をより身近に感じてもらえるような活動を行っています。</p>	
	<p>活動日・活動場所 活動日:平日・地域の方による見守り。 年に数回、主に土曜日・竹林及び周辺樹木の整備。 小学生向け工作教室など。 場所:谷矢部池公園(戸塚区)</p>	
	<p>PR 自然豊かな「さとやま」の魅力を感じながら、子どもたちの「ふるさとづくり」のために、協力してくださる方、また、自然と触れ合うのが好きな方を増やして行きたいです。</p>	



今夏は、市内の公園や市民の森等の樹林地でハチの発生情報が寄せられています。ハチが活動する10月まで、公園や市民の森等を利用される際は十分ご注意ください。ハチを見つけた際は、むやみに刺激したり振り払ったりせずに、姿勢を低く、その場から静かに離れましょう。また、公園や市民の森等での情報については、公園緑地事務所または各区土木事務所にご連絡ください。

現在活動している森づくり活動団体のうち、3団体について紹介します。

\*これまで、よこはまの森ニュースレターNo.76,77にて8団体を紹介しました。



↑林床を染めるタチツボスミレ

平成26年9月発行



横浜市環境創造局みどりアップ推進課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 tel 045-671-2624 fax 045-224-6627  
【よこはまの森ニュースレターHPアドレス】http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyoudou/morivolunteer/mori-news.html

### 環境活動支援センター 事業紹介

平成26年4月より、森づくり活動に関わる人材育成事業の窓口として「環境活動支援センター」が加わりました。これから予定している研修や事業内容を紹介します。

**横浜市森づくりボランティア入門講座**

実施日 1日目:平成26年10月13日(月祝)、  
2日目:10月26日(日)、  
3日目:11月23日(日祝)  
(予備日11月24日(振替休日))  
※3回連続講座です。

時間 各回原則:9時半~15時

対象 市内在住・在学・在勤の18歳以上で、森づくりに興味がある方。

場所 新治市民の森

内容 横浜市の森づくりや森づくり活動の魅力について学んだり、管理作業を体験します。

**ウェルカムセンター 交流スペース**

環境活動支援センター本館の一角に、森に関する情報発信の拠点となるウェルカムセンターとして「交流スペース」が今年の4月にオープンしました。ここでは市民が森に関わるきっかけづくりとして自然体験教室や、間伐材を活用したクラフト教室などを実施しています。※2面の行事予定もご覧ください。

**市民農業大学講座**

農家の手伝いや、緑化ボランティア等で活動する人材育成を目的とした講座です。1年目は園内の畑等で栽培技術の基礎知識を実習中心に学び、2年目は実際に農家の農作業実習を行っています。講座修了後は「農体験リーダー」、「地域緑の環境リーダー」の認定を受けることができます。

**農と緑のふれあい祭り**

11月3日  
みんな来てください!

「横浜みどりアップ計画」「農」「緑」に関連する各種イベントを開催。緑豊かな横浜を体験できる催しです。当日は、野菜の収穫体験、自然素材の工作教室、農畜産物の販売(先着順)などを行います。

日時:11月3日(月・祝)10時~14時 ※子ども植物園は15時まで  
場所:環境活動支援センター・児童遊園地・子ども植物園

**環境活動支援センター 基本情報**

休園日:年中無休・無料(事務所の休業日は土・日・祝日及び年末年始)  
主な施設:環境活動支援センター本館・野菜温室・花温室、ほ場・実習展示場・ハーブガーデンほか  
所在地:横浜市保土ヶ谷区狩場町213  
アクセス:電車・バス利用  
・JR 横浜駅、保土ヶ谷駅東口、戸塚駅東口より「権太坂上」又は「児童遊園地入口」下車  
・京急井土ヶ谷駅より、市営バス「平和台」行きにて「児童遊園地前」下車。

# これも覚えよう!30種「初夏の昆虫」実施報告

日 時	平成26年7月10日(木)、11日(金)10:00~15:30
内 容	講師:伊藤晴康氏

草丈の違いや環境の違いで見られる昆虫を比較し、森づくりや管理に役立つ研修を行いました。参加者も実際に補虫網を使い昆虫採集を行い、昆虫の構造について間近で観察しました。振り返りでは、環境の違いを示した環境図に、見られた昆虫を貼って行き、環境の違いによって見られる昆虫の種類を確認しました。また観察するだけでなく、見られた昆虫を記録として残すこと(モニタリング)の大切さなどもお話しいただき、今後の森づくりに役立つ研修になりました。

## 昆虫30種 参加者の感想

- いろいろな場所での捕虫方法が学べた。
- 野外昆虫観察の方法が分かった。
- 講習会がしっかり準備されていて、大変勉強になった。
- 森林植生に関わる虫が生きていることが、実際に歩くことで理解が進んだ。
- 多種の虫を観察でき、とても勉強になった。



## ウェルカムセンター 行事予定

### ◆ 環境活動支援センター 交流スペース

8月3日(日)「夏の昆虫観察会」を実施しました。子供から大人まで多くの方が参加され、カブトムシやコクワガタ、アオハナムグリ、クロアゲハなど雑木林の昆虫を中心に20種類以上の昆虫を観察することができました。トラップにかかったクワガタムシに歓声があがりました。



### おすすめの 行事紹介

#### 森に親しむきっかけづくり ～子ども環境講座～

ゲームやクラフトづくりなど楽しみながら森について知識を得られる講座です。

10月22日(水)	幼稚対象
11月15日(土)	小学生対象
1月10日(土)	小学生対象

受付 FAX:045-721-6356  
E-mail:ks-shiencenter@city.yokohama.jp  
お問い合わせ先:環境活動支援センター  
045-711-0635

#### ● その他 10~11月の行事

『赤とんぼ観察会』	10月26日(日)
『どんぐり細工をしよう』	10月19日(日)
『リースづくり』	11月16日(日)
『ドングリを探せ』	10月5日(日)
『森の色集め』	11月2日(日)

申込は不要です。  
直接交流スペースへお越しください。  
お問い合わせ先:045-713-6350



### ◆ 舞岡ふるさと村 虹の家

舞岡ふるさと村虹の家では、毎月第1金曜日に平日探鳥会を行っています。7月4日に行われた第1回平日探鳥会の様子を報告します。

この日は天気が心配されましたが舞岡周辺の方々の参加がありました。ガイドは虹の家で自然観察指導員をしている手島氏。朝9時に集合し最初に双眼鏡の使い方、初期設定の仕方をレクチャーし探鳥に出発しました。ふるさとの森の中ではカワラヒワ、ツバメ、キジバト等の鳥が観察でき、最後に見た鳥を突合せすると多くの鳥の名前が挙がり、ふるさとの森は鳥たちにとっても貴重な緑地であることが分かりました。

参加者の中にも「継続的に参加したい」との声があがり、次回以降も充実した鳥の観察会ができそうです。



#### ● 今後の平日探鳥会の予定

毎月第1金曜日に9時から開催。直接虹の家に集合してください。  
お問い合わせ先:045-826-0700



↑ハクセキレイ



# 保全管理計画フォローアップ研修 実施報告

## ● 今宿市民の森

今宿市民の森は平成25年3月に開園した新しい市民の森です。今回は新しく結成された今宿市民の森愛護会の方々と、今宿市民の森の自然環境や必要な管理作業について研修会を実施しました。



日 時	平成26年6月29日(日)
場 所	今宿市民の森(旭区)
内 容	神保賢一路氏

講師から今宿市民の森が独立峰のようになっており、東西南北の自然環境が異なっていることや、様々な環境があるから、多様な生きものが生息している等、今宿市民の森の特徴や魅力が解説されました。また、そのような環境をより良くしていくために必要な管理作業について、横浜市と愛護会との役割分担を確認しました。



## ● 新橋市民の森

今年度新たに開園予定の新橋市民の森で、地域の皆様と一緒に策定した「保全管理計画」に沿って具体的な活動を進めていくため、フォローアップ研修を実施しました。



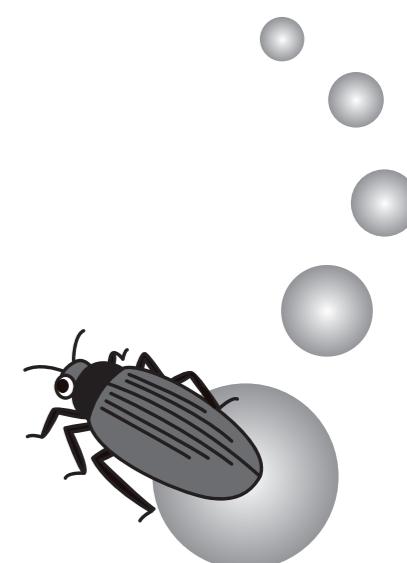
日 時	平成26年8月3日(日)
場 所	新橋市民の森(泉区)
内 容	八色宏昌氏

室内での講義を受けたうえで、湿地や水路が残る谷戸のエリアでミニ観察会を行いました。その後実習として、ホタルが生息できる環境を目標とし、断面図に示したポイントに留意しながら、カマ等を使った水路沿いの草刈や中低木の枝抜き剪定を行いました。



講師からは、きれいに刈り過ぎてしまうと土が乾燥してしまうことにもなるため草刈りをしたのが分からない程度に刈り残すとよい、作業の前後で同じ場所から写真を撮り、ホタルの頭数調査の結果と照らし合わせることで作業の成果の確認や見直しといったPDCAサイクルを効果的に進めていくことができる、といったアドバイスをもらいました。

これまで草刈機で作業を行っていた場所でしたが、カマでも数人でやれば短時間で作業できることも分かり、今後は愛護会(今後結成)によるカマを使った草刈作業を続けていくことになりました。



### 必要な作業

- 光を遮る常緑樹を、植被率が50%程度に除伐し明るくする
- 視線が通り抜けない程度に適度に除伐する

### 必要な作業

- カワニナの生育し易い環境を整える
- 草刈を行い、水面に光が当たるようにする
- 刈り高は10cm程度

### 必要な作業

- 草刈りを行い、ホタルの産卵場所となるコケの生育を促す

